

就労継続支援B型事業所 すずかけ

1 基本方針

地域で暮らす障がいのある方が、地域の中でいつまでも自立した日常生活を営むことが出来るよう、一人ひとりの障がいの状況に応じた生産活動の提供と個別支援を行うことで、利用者の労働意欲の高揚を図るとともに、より高い工賃が支給できるよう努める。

2 今年度重点事業目標

(1) 商品開発、販路拡大等による収入増と工賃の向上

- ア 印刷関連作業に関わる利用者の発掘を行う。また、業務の習得度を高め顧客拡大を図る。
- イ HACCPに沿った、一層の食品衛生管理につとめ商品の信頼性を高める。
- ウ 受託作業について、利用者の特性に合わせた作業提供をする。
- エ 新商品の開発、新規の販売先を開拓し工賃の向上につなげる。

(平均工賃目標月額 13,000円)

(2) 障がい特性に合わせた支援と職能評価

- ア 自閉症、行動障がい等の障がいの特性や高齢化に配慮し、安心安全な作業環境を整備する。
- イ 定期的に利用者の職能評価を実施し、個人の能力伸張に繋がる支援や助言に努める。
- ウ 個別支援計画に基づき働く喜びや自信につながる支援に努め、自己選択、自己実現につながるサービス提供を目指す。

(3) 地域に密着した農福連携と地産地消

- ア 「道の駅西いなば気楽里」「食のみやこわったいな」「道の駅かわはら」など地域の事業所で商品を販売し地域の振興や情報発信に貢献する。(ごきげんマルシェへの参画)
- イ 地域の農家、漁業協同組合、「鹿野心のふるさとづくり委員会」等と連携して地域の農産物及び水産物を加工し、県内外へ県産品を販売する。
- ウ 県内の食材を生かした商品を旧気高郡の給食センターや施設に提供し、地産地消を推進する。

(4) 利用者の安定確保

- ア 相談支援事業所等と連絡を密にし、利用者ニーズに応える支援体制や作業提供体制を整え、利用促進に努める。
- イ 特別支援学校からの職場体験実習を積極的に受け入れ、卒業後の利用に繋げる。

[目標稼働率：85%]

(5) 地域福祉への貢献

- ア 保健師等と連携しながら、地域の在宅障がい者の積極的な情報収集とニーズ把握に努め、見学、体験実習等を積極的に受け入れる。
- イ 小・中学校、地域自治会との交流や地域のイベントに積極的に参加し、障がい理解の啓発に努める。
- ウ 地域公民館活動の環境美化などに参加し地域貢献に努める。
- エ 地域における生活困窮者支援の充実を図るために、他機関による支援やインフォーマルな社会資源との連携、協働による支援体制の構築に務める。(就労体験場所提供)